

大山区当日 QA

Q：伊村恒男宅の北側は雨が多いと崩れる危険性があり、安全確保のため排水溝を施工してほしい。

A：要望書を出してほしい。現地を調査し、地権者の了解が得られれば排水施設等の施工を検討する。

Q：旧御前崎観光ホテルは危ないし景観も悪い。清掃するとか雑草を刈るとか、どうにかならないか。

A：地震があった後に総務課職員が外観を確認した。このままでは危険なのは良く分かる。今月 24 日付けで所有者へ文書で建物の再点検と適正な管理を依頼した。

Q：御前崎灯台の「おまえざき」は「御前崎」と「御前崎」どちらが正しいのか。ひとつに統一できないか。

A：固有名詞の「おまえざきとうだい」についてだけ「崎」を使っている。地名を表す場合は「崎」。案内看板もこのように直してきた。その他の「おまえざき」はすべて「崎」で表記している。

Q：市道長山線の工事計画を教えてください。

A：長山線は、以前から線形や勾配など検討を重ねてきたが、現道を生かした改良計画で、今年度から実施測量設計に着手する。工事は道路用地や自然公園、また交差点などの関係協議が整い次第、来年度以降に着手する。

Q：長山線の上部法面へつながる大山神社所有の山が今回の地震で崩れた。今後の対応を教えてください。

A：民地であれば市ではできない。道路は整備するが、個人の土地へは市が手を出せない。現場を確認して町内会へ返答する。

Q：市へは関係ないが区民館へエアコンをつけたい。良いアイデアはないか。自主防災の避難地となっているため防災関連で整備できないか。

A：防災資機材に限っているため、エアコンは防災資機材とはいえない。

Q：御前崎公民館の建て替えはどうか。

A：地元で候補地が絞られれば、市としても考えたい。

Q：老人ホームが不足しているのではないか。灯光園もいつ入れるか分からない。

A：灯光園、清風園の特別養護老人ホームがあるが、200 人程度が入所待ちであると聞いている。入所も介護度が 4～5 と重くないと入れないようだ。市としては県下でもトップクラスの施設整備状況ということだ。現在、民間で施設をつくりたいという話を聞いている。

Q：東海地震が発生すれば、海岸近くで生活する我々にとって最も怖いのが津波。命を守るにはいち早く高台へ避難することだが、避難路が崩れていたら逃げ場はない。大山区の避難道路として指定されている法印坂は急傾斜地で、いざという時には役に立たないと思われる。

そこで、港坂や寺坂までは距離があり、法印坂に頼るしかない現状の大山区民には、いち早く避難できる安全な道路が必要。ぜひ前向きに考えてほしい。

- A：法印坂は、市でも避難路として重要な道路と位置づけている。今回の地震でも法印坂は若干、損傷したので、安全な避難路として使用できるよう、調査し、整備を検討していく。新たな道をつくるのは難しいが、今ある道路を整備していきたい。
- Q：地震の時、屋外の同報無線が何を伝えているのか分からなかった。ケーブルテレビの音声告知放送と直結した、家の中にも分かるような放送の方法を考えてほしい。
- A：Jアラートはケーブルテレビとつながっていない。同報で流れたが、戸別受信機が入っていない御前崎地区は屋外の放送しか聞けない。有効な情報伝達方法を考えたい。戸別受信機をつけるとすれば約3億かかると聞いている。
- Q：地震で陸開が閉まらなかったがどうか。
- A：すぐ見に行ったが閉めていなかった。予知型の地震であれば閉めるが、今回のような突発地震で、閉めに行くことは危険である。突発的な地震の場合は閉めることができないのが現状。
- Q：防波堤のかさ上げをしている。そのときに陸開もかさ上げしてもらって、電動にしてもらいたい。
- A：電動にしても管理は欠かせない。要望できることは県へ要望していきたい。
- Q：道路が狭いので救急車が通れない。小回りの利く救急車はないか。
- A：救急車や消防ポンプ車には設備も必要なため小型化はできないだろう。消防の可搬ポンプは狭くても入ることができる。